

江戸名所図会「瑞聖寺周辺絵図」 港区立港郷土資料館蔵

# と歴史をたずねて

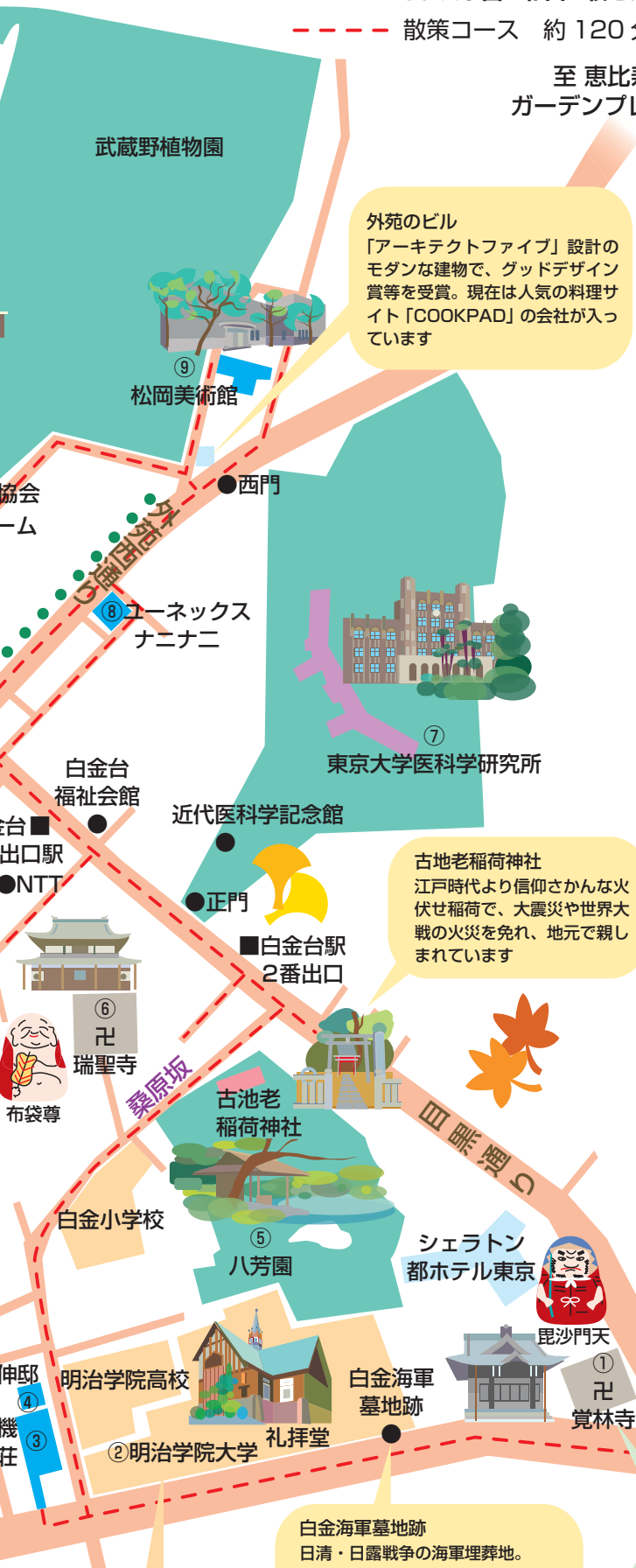
みなさんは白金台というとどんなイメージを持たれますか？  
取り上げられ、ファッショナブルなブティックや洒落たオープン  
、各地からたくさんの方が訪れる賑やかな街に変身しました。  
趣とモダン、屋敷町として発展し、さらに教育研究を育む街と  
なりました。さあ、この地図を片手に気軽に出かけてみてください！

(担当/田中・真弓・伊関・滝川・安・中嶋・加藤・安藤)

イラスト図：和田三枝さん

--- 散策コース 約120分

至 恵比寿  
ガーデンプレイス



⑧ ユーネックスナニナニ

仏人建築家フィリップ・スタルクの設計による  
緑色の怪物を模したポストモダン建築です。  
ナニナニとは、日本語の「なに、なに？」か  
ら発想したと言われています



⑦ 東京大学医科学研究所

明治39年(1906)に現在地に移転してきた旧伝染病研究所で、  
旧公衆衛生院舎と1号館は建築家内田祥三設計のゴシック式  
の重厚な建物です。現在、公衆衛生院舎は港区管轄で、跡地  
の活用が検討されています。イチヨウやヒマラヤスギの大木に  
囲まれて春の桜、秋の紅葉が見事です

## ●明治学院の国重要文化財と港区有形文化財



インブリー館

② 明治学院大学

ヘボン式ローマ字で有名なジェームズ・C・ヘボン博士は江戸  
時代末期に宣教医として来日し、横浜に英語塾「ヘボン塾」を開  
設しました。この塾の男子部が明治20年(1887)に白金の地に移  
転し、「明治学院」と称することとなりました。女子部は横浜の  
フェリス女学院の源流となりました。現在白金キャンパスには、当  
時の歴史的建物が3棟あります。W・メレル・ヴォーリズ設計によ  
る特色あるゴシックスタイルの「明治学院礼拝堂」(1916年竣工  
区有形文化財)、19世紀のアメリカの住宅様式の雰囲気をよく伝えている宣教師館「イン  
ブリー館」(1889年頃竣工 国重要文化財)、さらにネオ・ゴシック様式の旧神学部校舎兼  
図書館であった「記念館」(1890年竣工 区有形文化財)です。記念館には歴史資料館が  
開設されています。また国内に現存する最大最古のメーソン&ハムリン社製「リードオルガン」  
が保管されています。(各建物は見学要許可)



礼拝堂



記念館

油絵：高輪在住 佐伯庄吾さん



① 寛林寺

通称「清正公」と呼ばれ、1631年に開山し武  
将加藤清正公を祀っています。清正公堂と山  
門は江戸後期に再建された港区指定文化財  
で、山門左側には「山手七福神」の毘沙門天  
が安置されています。勝負祈願の寺として、  
毎年5月の大祭にはしょうぶの葉入り勝守が頒  
布されます。(油絵：高輪在住 佐伯庄吾さん)



インブリー館 記念館

江戸最初の山手七福神巡り  
七福神信仰は古くは室町時代から起こり、江戸時代に庶民の間  
で七福神巡りが大流行し今の形になったといわれています。白  
金台から目黒にわたるこのコースは、将軍が鷹狩りの際に参詣  
した目黒不動堂の参詣道筋に設置されたことから「江戸最初の」  
といわれていますが、定かではありません。七神のうち白金台に  
四神(寛林寺毘沙門天・瑞聖寺布袋尊・妙圓寺福祿寿尊・寿老人尊)、  
目黒区に三神(大圓寺大黒天・蟠龍寺弁財天・滝泉寺恵比寿神)  
が祀られています



大黒天

弁財天

恵比寿神

